

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規定および本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習会場および練習について

- (1) 練習会場（補助競技場・雨天練習場）での練習は、トラックのみとする。
- (2) 練習は、指定された練習場で競技役員の指示に従うこと。特に100mスタート付近は危険防止に努めること。

3. 競技者の招集方法について

- (1) 招集所は、本競技場第1ゲート外側（100mスタート地点の後方外側）付近に設ける。
- (2) 各競技の招集開始時刻および招集完了時刻は、その競技の開始時刻を基準として下記のとおりとする。

競 技	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始 40分前	競技開始 20分前
フ ィ ー ル ド 競 技	競技開始 60分前	競技開始 30分前

但し、下記の競技種目については、組ごとに招集開始時刻および招集完了時刻が異なるので注意すること。

競 技 種 目 名	組	招集開始時刻	招集完了時刻
男子 100m	1組 ～ 12組	9:20	9:40
	13組 ～ 24組	9:45	10:05
	25組 ～ 36組	10:10	10:30
	37組 ～ 48組	10:40	11:00
	49組 ～ 62組	11:10	11:30
男子 200m	1組 ～ 15組	9:35	9:55
	16組 ～ 29組	10:10	10:30
男子 400m	1組 ～ 10組	13:05	13:25
	11組 ～ 19組	13:35	13:55
男子 1500m	1組 ～ 4組	17:20	17:40
	5組 ～ 8組	17:40	18:00
女子 100m	1組 ～ 12組	8:20	8:40
	13組 ～ 23組	8:45	9:05

- (3) 招集受付の際には、ナンバーカードを見せること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者もしくはリレーチームは、当該種目を棄権したものととして処理をする。
- (5) 2種目を同時に兼ねる競技者は、第1種目の招集受付の際に2種目同時出場届を競技者係（招集所）に提出すること。
- (6) リレー競技の出場チームは、当該競技の招集完了時刻の60分前までに、所定のリレーオーダー用紙に走順および監督署名をし、競技者係（招集所）に提出すること。また、リレーオーダー用紙提出後は、必ず招集完了時刻までに招集手続きを完了すること。

競 技 種 目 名	リレーオーダー提出期限時刻	招集開始時刻	招集完了時刻
男子 4×100m	16:05	16:45	17:05
男子 4×400m	12:30	13:10	13:30
女子 4×100m	15:45	16:25	16:45
女子 4×400m	12:20	13:00	13:20

4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、2019年度日本陸上競技連盟登録番号を使用し、競技中は胸部および背部にはっきり見えるようにつけなければならない。跳躍競技の競技者は、胸部または背部のいずれかにつけるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集受付時に写真判定用腰ナンバーカードを受け取り、所定の位置へ取り付け、競技終了後フィニッシュライン付近で競技役員に必ず返却すること。4×400mの第2走者および第3走者は腰ナンバーカードを右腰に取り付けること。

5. 競技の抽選および番組編成について（レーン・試技順）

- (1) トラック競技における走路順およびフィールド競技の試技順はプログラム掲載順による。
- (2) トラック競技の次ラウンドの組み合わせおよびレーン順は、アナウンスおよび記録掲示板にて発表する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終の1枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が0.001秒の実時間を判定し決定する。それでも決定できない場合は抽選とする（競技規則第167条2）。

6. 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
 - ② トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ③ スタートコールはイングリッシュコマンドで行う（「オン・ユア・マークス」、「セット」）。
 - ④ 不正スタートをした競技者（チーム）は1回目で失格とする（競技規則第162条8）。
 - ⑤ スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード

2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。

- ⑥ セパレートレースのトラック競技においては、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者に接触しないように注意すること。
- ⑦ 下記の競技種目については、A／B決勝を実施する。A決勝は決勝進出8名で行う。B決勝はA決勝進出者を除いたタイム上位8名とする。

	100m	200m	400m	110mH	
				一般高校	中学
男子	○	○	○	○	×
女子	○	○	○	---	---

- ⑧ 下記の競技種目では、その組のスタート後、以下の指定した時間が経過した時点でその組の競技を終了する。

	3000m	5000m	5000m競歩
男子	13分00秒	20分00秒	35分00秒
女子	13分00秒	-----	35分00秒

(2) フィールド競技について

- ① その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- ② 走高跳ならびに棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になるまで下記のとおりとするが、当日の気象状況やその他特殊条件によっては、審判長の判断で変更する場合がある。また、ジャンプオフ（第1位決定戦）のバーの上げ下げ幅は、下記のとおりとする。

競技種目	性別	練習	1	2	3	4	5	6	以降	ジャンプオフ (上げ下げ幅)
走高跳	男子	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cm	2cm
	女子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	---	3cm	2cm
棒高跳	男子	3m40	3m60	3m80	4m00	---	---	---	10cm	5cm
	女子	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	---	10cm	5cm

- ③ 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に当該競技役員に申し出ること。その後、位置を変更したい場合も当該競技役員に申し出ること。
- ④ 走幅跳ピットは、Aピット：ホームスタンド側、Bピット：ホームトラック側、Cピット：バックトラック側、Dピット：バックスタンド側とする。
- ⑤ 三段跳ピットは、Aピット：スタンド側、Bピット：トラック側とする。
- ⑥ 三段跳の踏み切り板は、砂場から男子Aピット：スタンド側9m、Bピット：トラック側12m、女子9mの地点に設置する。

7. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用のポールについては、個人所有の物を使用できるが、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を実施する。
- (2) 跳躍およびやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用することができる。
- (3) 投てき用具については、個人所有の持ち込みを認める。ただし、希望者は各競技開始時刻の120分から60分前までの間に検査を受け合格したものに限り使用することができる。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、競技者全員で使用できるものとする。
- 検査場所：本競技場第1ゲート外側（100mスタート地点の後方外側）付近

8. 競技用靴について

本競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンの本数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。

9. 抗議について

発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められた時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合には15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者本人または代理人が担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、大会本部（本競技場1階No.9会議室）で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出ること。

10. 表彰について

- (1) 表彰は、決勝結果（B決勝種目は除く。）アナウンス後直ちに実施するので、速やかに表彰者控え所（本競技場正面エントランスホール）に集合すること。他の種目へ出場で表彰に出られない場合は、必ず連絡（代理人でも良い。）をすること。
- (2) 各種目の第1位から第3位までの入賞者に賞状を授与する。

11. 更衣室について

- (1) 本競技場の1階更衣室が利用できる。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自において管理すること。
- (3) 貴重品類等の管理は各自で管理すること。万一の紛失もしくは盗難にあっても主催者は一切の責任を負わない。

12. その他

- (1) 大会本部は、本競技場1階No.9会議室に大会期間中設置する。
- (2) 応急措置を必要とする事故が生じた場合は、大会本部に連絡をして処置を受ける。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、以後主催者は一切の責任を負わない。
- (3) プログラム記載事項に訂正がある場合は、招集開始時刻前までに競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行うこと。訂正用紙は、大会本部（競技場1階No.9会議室）にて準備する。
- (4) 記録証明書希望する競技者（チーム）は、大会本部に1通300円を添えて申し出ること。
- (5) 本競技会の記録は、記録掲示板および岡山陸上競技協会ホームページに掲載する。
- (6) 競技場内外での喫煙は、指定された喫煙場所のみとする。